

ドクターおのころの ちよこつとばなし

お知らせ

- 医師担当表が変わりました。
ご確認をお願いいたします。
- 受診時には診察券をお持ちください。
また、毎月最初の受診日には、健康保険証
のご提示をお願いします。
- 人間ドック、協会けんぽ生活習慣病予防健診、
各種健診を実施しています。
- ★ドック・健診は、お電話にてご予約をお願いします。
TEL:(0799)72-3636(平日8:30~17:00)



医師担当表 2011年5月

●午前診療●

診療科	月	火	水	木	金	土
内科	佐藤 (予約制)	荒木	佐藤 (予約制)	佐藤 (予約制)	佐藤 (予約制)	交代制
総合診療科	長田	—	黒田	依藤	黒田	
外科	黒田	大森	長田	長田(19日) 黒田(12・26日)	大森	
整形外科	吉原	— (手術日)	吉原	吉原	吉原	

●午後診療●

婦人科 (予約制)	依藤	—	依藤	—	依藤	—
--------------	----	---	----	---	----	---

■土曜日は内科、総合診療科、外科、整形外科の医師が交代で診察いたします。担当医については、お電話でお問合わせください。

■内視鏡検査は、火曜日と木曜日に行っています。

外来受付時間：午前 7:30~11:30 診察は9:00~(祝日休診)
〈予約制〉午後 13:30~15:30
☆急病患者様は、お電話にてご連絡ください。Tel.(0799)72-3636
入院面会時間：20:00まで

こつぎしょう 骨挫傷について

MRI検査(磁気を使って断層撮影を行う検査です)が実際の診療に応用されるようになり、今までレントゲン検査やCT検査ではわからなかった病変がMRI検査で確認できるようになっています。



整形外科分野での骨挫傷もその一つで、とりわけ膝関節や足関節での外傷でよく見かける病変です。膝では靭帯損傷例(特にスポーツ外傷での前十字靭帯損傷例)で高率に認められ、足関節でも捻挫後に疼痛が長く続く例などでよく見かけることがあります。

外傷後のレントゲン、CT検査では治療経過中に一切変化が見られない骨領域にMRI画像で早期から関節面に接する異常信号領域として現れたものを骨挫傷と呼びます。この病変そのものは外傷で起こる骨内の出血、急性炎症、微小骨折などを反映したものと考えられていますが、ただ幸いというか不思議なことに骨挫傷そのものは治療をする必要がありません。数ヶ月以内に自然消失することが期待できますので、治療経過に大きな影響を与えることはないと考えてもらっていいと思います。ただし受傷直後は骨折との鑑別がしにくいことがあるため経時的なレントゲン検査で骨折でないことを確認する必要があります。

(整形外科部長 吉原 幸夫)